

(一社)日本実験動物技術者協会 関東支部 平成30年度総会・第44回懇話会

【懇話会趣旨】

日々革新される生命科学研究において、研究者は寝る間も惜しんで研究に勤しんでいます。そこから多くのアイデアが生まれ、実験による仮説を検証するために精度の高い技術を欲しています。一方、実験動物技術者は動物の観察を常に行い、動物の生理、生態、および習性を熟知して動物を取扱い、様々な処置を高い再現性の基で施す技術を兼ね備えています。この両者のコラボレーションによる最強の研究チームこそが世界をリードする研究成果を創出してゆくと考えています。

研究者の夢と想像を具現化できるのは技術者です。本懇話会では、実験動物技術者の研究に対する意識、および知識の向上を後押しするため、研究者の技術者への想いを感じ、研究者とのコラボレーションにつなげる機会といたしました。

本懇話会は実験動物業界全体の活性化に繋がるものと確信しており、実行委員一同、本大会を成功させるべく鋭意努力していく所存でございます。

【開催概要】

会 期 2019年3月16日(土曜日) 10時00分～20時30分 (受付開始 9時30分)

場 所 日本科学未来館7階 未来館ホール

参加費 会 員 事前4,000円 当日5,000円

非 会 員 事前6,000円 当日7,000円

学 生 2,000円

懇 親 会 4,000円

事前登録 2019年1月31日迄、関東支部 HP(<http://www.jaeat-kanto.jp/>)にて受付。

リラックスした雰囲気の中で有意義な情報交換を行って頂くために、ノーネクタイ、カジュアルな軽装でご参加ください。当日は、スタッフも軽装にて対応させていただきますことを、ご了承下さい。本総会・懇話会の開催及びプログラムに関する更新情報は、日本実験動物技術者協会関東支部HPをご確認下さい。随時更新致します。(<http://www.jaeat-kanto.jp/>)

【懇話会事務局】 大羽 沙弥佳 日本クレア株式会社 E-mail:44th_meeting_jim@jaeat-kanto.jp

【会場へのアクセス】



日本科学未来館 7階 未来館ホール
東京都江東区青海 2-3-6

* 未来館ホールへは「通用口」からお入りください。

新交通ゆりかもめ

「船の科学館駅」下車、徒歩約5分

「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

東京臨海高速鉄道りんかい線

「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

日本科学未来館の常設展並びに企画展の見学には別途入場料が必要です。

~~~~~プログラム~~~~~

◆開会の辞

第44回懇話会大会長 野田 義博 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

◆一般演題（口頭発表）

◆ランチオンセミナー・懇話会協賛企業展示

動物実験を支える最先端技術 ～実験器材を作る技術者の挑戦～

会場：コンファレンスルーム 木星

◆平成30年度関東支部総会

◆特別講演 ①

先端医療研究における医学研究者からみた、技術者の貢献

武部 貴則

国立大学法人 東京医科歯科大学 統合研究機構

◆特別講演 ②

製薬企業における食品科学研究者からみた、技術者の貢献

池田 泰隆

大塚製薬株式会社 佐賀栄養製品研究所

◆特別講演 ③

老化研究における老年医学研究者からみた、技術者の貢献

石神 昭人

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 研究所 老化制御研究チーム

◆技術者の立場から

実験動物技術者が支える生命科学研究

野田 義博

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 研究所 実験動物施設

◆閉会の辞

関東支部支部長 江藤 智生 公益財団法人 実験動物中央研究所

◆イブニングセミナー・情報交換会

＜懇話会協賛企業セッション＞

宇宙空間での試験における特殊飼料の開発（仮）

三上 隼人（オリエンタル酵母工業株式会社）

NEPA21 を用いたエレクトロポレーション法によるマウスゲノム編集

綾部 信哉（理化学研究所 バイオリソース研究センター 実験動物開発室）

＜情報交換会・関東支部協賛企業展示＞

会場：コンファレンスルーム 木星

**(一社)日本実験動物技術者協会 関東支部
実験動物福祉部会 講演会ご案内**

(一社)日本実験動物技術者協会 関東支部実験動物福祉専門部会では「シンポジウム：動物看護学から観る実験動物福祉」を企画いたしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

テーマ：「動物看護学から観る実験動物福祉」

開催趣旨：近年、動物実験施設の現場に動物看護学を履修した技術者が活躍している様子が見えがえします。我々の業界の資格というと、日動協の認定資格である「実験動物技術者認定」は周知の資格であります。一方で愛玩動物を対象とする動物看護学を学ぶ事で、閉鎖的な環境で管理される実験動物ならびに動物実験に対して、違った目線で感じられる事があるのではと想像しました。

話題提供では大学で模型動物等代替法を使用した教育を行っている先生の講演を、特別講演として「動物看護学と実験動物学」に関する総論、ならびに大学の動物看護学を履修し、実験動物施設に勤務している先生に総括的な講演をお願いしました。シンポジウムでは、実験動物施設にいながらにして動物看護学を学び、動物看護師資格を取得した先生、逆に実験動物施設業務から臨床に移った動物看護師など、様々な立場から話題提供して頂きます。いずれにしても実験動物（動物実験）の事と、一般的な動物看護学（獣医医療）の双方をバックグラウンドに、実験動物福祉に関する行為や Well-Being について、忌憚ない意見交換ができれば幸いです。

また、講演会後には懇親会も予定しております。当日参加も受け付けておりますので、動物福祉に関する交流の機会としてご活用いただき、一人でも多くの皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。

※関東支部ホームページに内容を更新致します。事前申込受付けております。

(記)

日 時：2019年2月9日（土） 13:00～17:30（受付開始12:00）（予定）

場 所：東京都健康長寿医療センター研究所（東京都板橋区栄町35-2）

参加費：実技協会員 無料、非会員 2,000円（実験動物関係者）、
関東支部協賛企業（1名無料）

問い合わせ先： 櫻井 拓也 E-mail: sakurai@animal-care.co.jp

第187号 2019年1月

発行者 支部長 江藤 智生

発行所 日本実験動物技術者協会 関東支部

〒160-0016 東京都信濃町35

慶應義塾大学医学部動物実験センター内

TEL/FAX：03-3353-7703

印刷所 株式会社プリントボーイ